

きたうら

第41号

発行所 北浦村大字山田
北浦村役場
発行人 真家襄之
印刷所 石崎印刷株式会社
電話(鈴田)一四八番

中学校屋内体操場兼講堂の建設等議決さる

第四回北浦村臨時会は八月一日開催され、次の議案が議決された。

議案第三十八号、北浦中学校屋内体操場兼講堂建設議決について。

議会レポート

去る三月十一日第一三三号議案により二八三坪で議決されていたものを其の後「ギヤラリー」(中二階)が坪数に算入されることになったため、三六七、六六七坪

内訳 一階二五六、〇三〇〇坪
地下室 二九、〇五八二坪
中二階 八二、五七九五坪

と変更議決になった。

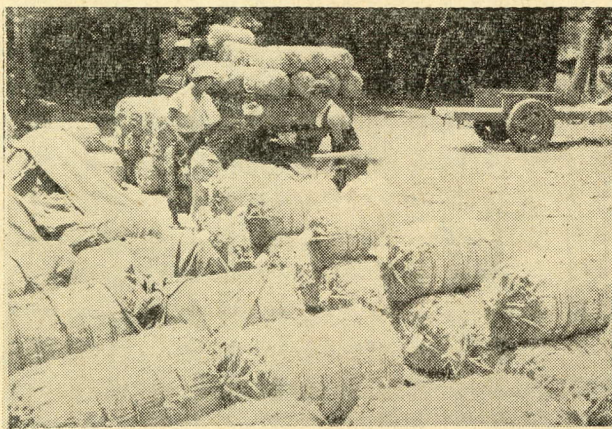
議案第三十九号、昭和三十六年度北浦村歳入歳出追加予算について

前議案建設にともない、地方交付税四百六拾七万円を財源として、工事請負金として議決した。これにより、交付税予算額は三千八万五千円となり、北浦中学校建設費は、二千五拾八万五千円となった。

品質は二、三等良好な小麦の出荷

反当七俵の豊作しかも今年の品質は良好というよろこばしい農家の活気のせいかな今日も出荷が行われている。こゝ行戸集荷所でも、今から七万俵位はと予想されている。

写真は出荷風景



山林にも肥料を！

林地肥培普及補助事業のあらまし

今日の農業経営は、肥料なくしては到底考えられませんが、畑作においても合理的な施肥によつてこそそれらは健全に発育し、豊かなみのりを結ぶのです。農家の皆さんは、これら農作物に対する施肥については熱心に研究しておられるようですが、山林への施肥については案外無関心です。「木は植えれば自然に育つもの。」といった

旧い考えで、せつかく植林したものの下刈りすら十分行わず、施肥など思いもよらないというのが実状ではないでしょうか。ところが、山の木も水稲やなたねと同じ植物です。合理的な肥培管理によれば、水稲やなたねが施肥により増収すると全く同様に、成長を早め増収が期待できるという点では例外ではありません。林業

経営の鍵が、材木の伐採期をいかにして早めるかという点にかゝつていふことを考えていただければ、この林地の肥培ということがどんなに重要な意味をもっているか御理解いただけると思います。これから説明する林地肥培普及事業は、こうした見地から考え出された県の補助事業で、林木の成長促進だけでなく、更に下草生産をも増大させる総合的な農業経営の改善を図り所得水準の向上を目的として本年四月に実施要綱が定められました。これによると

本事業は、施肥事業と植栽事業の二つに分れ、それぞれの事業に対し補助金を交付し、普及奨励を行うことになっております。次にその各々について説明します。

一、施肥事業

植付後五年までのすぎ、ひのき、あかまつ、くろまつ又は肥料木の造林地及び二、三段造林として県の補助金の交付を受けた造林地に対して肥料を施す事業である。

(イ)補助率

肥料代の三割以内

(ロ)補助条件

A 事業地が一団地五アール以上であること

B 知事の指定する肥料(①固型肥料の二号又は②粒状肥料の二種の中いずれか)を使用すること

C 十アール当りの施肥量が標準量以上であること

二、植栽事業

植付後五年までのすぎ、ひのき、あかまつ、くろまつ造林地に並びに二、三段造林地に肥料木を植え付ける事業である。

(イ)補助率

事業費の二割以内

(ロ)補助条件

A 事業地が一団地五アール(五畝歩)以上であること

B ねむのき、えにしだはぎ類等指定の肥料木を植えること。

以上林地肥培普及事業のあらましを説明いたしました。実施方法、実施時期等詳しいことは経済課又は林業改良指導員におたずね下さい。

― 経済課 ―

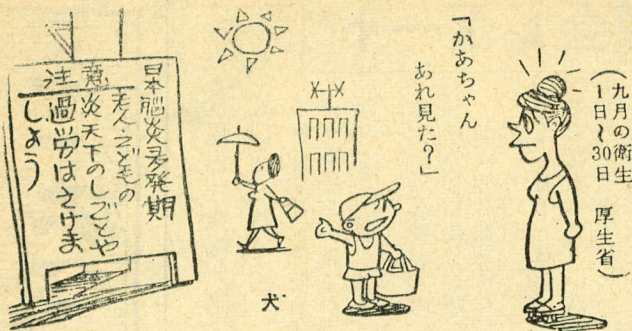
本村の人口

(7月末日現在)

男	6,062人
女	6,645人
計	12,707人
世帯数	2,201

昭和三十六年度産麦類政府買入価格

種 類	銘 柄	包 装	等 級 別 価 格			
			一 等	二 等	三 等	四 等
普通小粒 大 麦 正味 五二・五K	第二類 関取田二号	複式(新)	一、九五二	一、九二七	一、八九七	一、七九七
	竹 林	〃	一、九六七	一、九四二	一、九一二	一、八一二
	倍 取	〃	一、九六二	一、九四七	一、八三七	一、七三七
	関東皮種	〃	一、八九二	一、八六七	一、八三七	一、七三七
	坊主	〃	一、八九二	一、八六七	一、八三七	一、七三七
普通大粒大麦 (正味五三・五K)	第二類		普通小粒大麦第二類に同じ			
普通はだか麦 (正味六〇K)	第四類	〃	二、五五七	二、五二七	二、四七七	二、三八七
普通小麦 (正味六〇K)	第二類	〃	二、四四九	二、四二九	二、四〇四	二、三一四
強力小麦 (正味六〇K)	農林六七号 アオバ	〃	二、四六九	二、四四九	二、四二四	二、三三四



農業共済組合というところ、この位へんな存在はないと思ふ、アメリカでもはめていて立派な制度だといふのに日本では共済組合の事を良くいふ人は一人も居ない、全く不思議な話だ。

併しよく考えて見ると数多くの組合員の中には誰かがいつかは掛金の何倍何十倍の共済金を受取つてゐる人が相当あるのは事実だ、その場合その人は心では必ず共済ならだと思ふに違ひない、だがそれでも敢て共済の事業をたてようとはしない、但しこういふ人は居る『他の事はいつでも家畜だけはいつもはいつて居たい』

これは洵にうがつた話だ事実家畜共済は年々赤字だそうだがそれを他の一般農作物との総合経営でやつてゐるんだと聞いている、一般農作物といへば現在多くの場合掛金が大分掛捨てになつてゐるのは事実で、これも農業保険という事業の性質上或程度の犠牲は

共済組合 だより 組合員から見た 「農業共済組合」

止むを得ないにしても今少し緩和出来ないものか、被害があつても認めてくれないろくな金ももらえない。

これが組合不評の最大原因だ結局今の制度の先端が現今の農家の実状に合わないという事になる。聞けば政府に於ても早くから現制度の欠陥を認め制度改正を国会に提案したとの事どうか折角の制度だから農民に喜ばれる制度に改めて貰いたいものだ。

扱て北浦共済の場合組合員みなで組合の欠点を指摘しな

がら何年も前の未納金を何とか納めて居るが組合からいへば嬉しい事だらう納入組合も六〇以上出来たさうだ。

次に組合の職員にいわせると組合は常に仕事に絶えぬ、いつも忙しいという、なんでもそんなに忙しかつと聞いたら組合の事務が極めて複雑な上に仕事の大半は未収金の整理に終つてしまつたとの事、もしそうだとしたら未収が完全に整理されれば若干職員の減員も考えられるのではないかと聞かせる、そして共済組合はこれまでの様に他官庁職員の養成所でない様にと祈りつつ筆を擱く

三六、七、二五稿一組合員投

砂、砂利より道な

砂、砂利より道な

道路は総ての産業開発発展の基盤とされて居りますが、なかなかよくするための協力がむずかしいのも道路であり、夏の間には比較的交差に支障がないので痛切に感じられませんが、冬になると悪くなつて種々こぼれます。これは夏の間に田畑の草を道に捨てるのが大きな原因で、因になつて居るわけですから、捨てられた草は乾燥し或いは車にふみつぶされ一見正常な道のように見えますが、雨が降ると草が水分を保ち、有し冬になると段々悪くなるのが常であり、まず道沿いを耕して居る方は草を捨てるときは何の考えもなく捨てると思われ、他へ行つて道の悪い処にあつたときのことを省りみて愛護していただくようお願いします。折角農閑期に砂盛りをし砂利を手入一つで良くも悪くもなるわけですから、年々悪くなる処は夏のうちに草を捨ててケ所を冬になると雪がのる処です。道路保全の要結は排水を整備し草

お 使 い
(九月の衛生
一日と30日
厚生省)

「あちやん
あれ見た？」

犬

熱心に行われた 子供会の集い

七月二十七日北浦村子供会後援会連絡協議会(会長内田文雄)主催にて北浦中学校で北浦村子供会の集いが開催された。

村内六小学校、一中学校の児童生徒四十四名ならびに各後援会長三十数名教委及び学校関係十数名参集

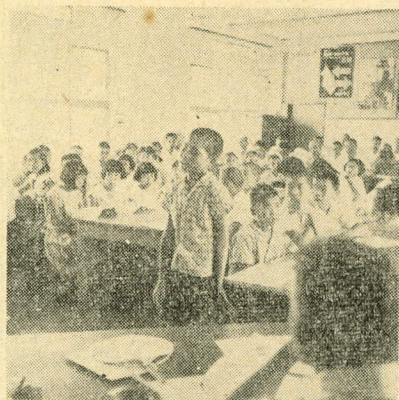
1. 夏休みのくらし方
2. 楽しい子供会にするには
3. お父さんお母さんたちへのテーマのもとに話し合いが行われたがこの様な子供達の熱心な研究や話し合いに今後の大きな成果が期待された

大宮小中学校視察記

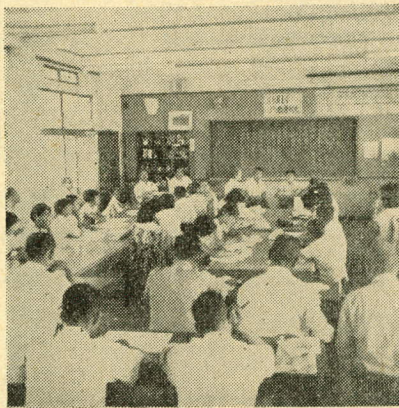
七月十八日、村教育関係者約五十九名とともに、那珂郡大宮町の教育活動の状況を視察してまいりました。大宮は科学実験地区指定三年目にあたり、その効果は非常にみるべきものがあり、教育長さんの説明によれば、近く関西の某学校より研究部員が来て、一二月月駐在し、その実態を研

究されるところでした。このことはいかに大宮町が教育効果をあげつゝあるかを証明するに十分と思ひます。

勿論これには幾多の条件もありましようが、まず町全体が教育に対する熱意のあらわれの結果であると考えられます。一例として、中学校PTAの予算をみますと六十数万円(生徒約九百)その内十数万円は町内有志の寄附、となつております。校長先生に伺いますと、その寄附は、今年ばかりでなく、毎年続いているそうです。校内を見ますとその廊下に、多くの賞状が、なんと三段に並べて十米もあるのです。皆さん想像しただけでも壮観ではありませんか、その大部分は体育関係のものが多いと思ひました。これはこの学校が東西二つの校庭を持ち、その上冬季等に毎年トラック三十台もの川砂を入れ整備を



子供会にて発表する児童



児童の議長ぶり

農業近代化のための貯蓄

貯蓄運動協力について村内各農業協同組合よりすでに皆さん方に協力依頼状がまいつて居ることと思いますが

貯蓄推進運動期間は八月一日から一〇月三十一日までその内農協推進委員の方が運動参加に協力方お伺ひいたします。

今度の貯蓄目標は村で一億七千五百万

農協別には
津澄 七千万
要 五千五百万
武田 五千万

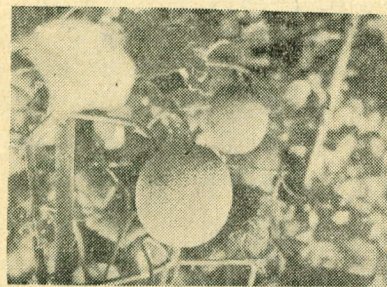
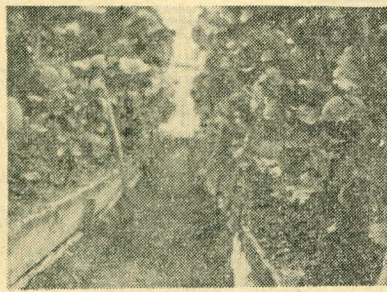
米麦類など統制或いは政府売渡しのものは農協を利用して居られるようすが、いざ貯金のことになると売渡代金を下

が銀行へ預金替するなど活用が少ないようです。これは預金利率、融通などあまり知られて居らないからと思ひます。

先ず預金利率から申しますと定期で
六ヶ月 五分一厘
一ケ年 五分六厘
普通で 二分二厘

になつて居り定期では金利統制法によつて銀行より一厘高い利率が認められて居り、こゝにも皆さんの農協の育成の措置が講じられて居ります。次に預金はどのように利用されて居るか考えますと銀行の場合には政府が打出している高度経済成長の波に乗つて第二次産業(工業)の設備投資に利用され皆さん農業従事者には縁

写真は根田清司さんが作られたメロン



吉川の部落でメロン栽培

吉川部落は古くからそ業栽培の先進地として知られ東京市場からも重要視され各地からも視察者が訪れてゐる。数年前よりメロン栽培が研究され二、三年前より優秀なメロンが作られ各地に出荷されている。東京市場より品質が優秀であることを認められメロンの特産地として期待されている。